



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東名

上場会社名 名糖産業株式会社
コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 寛志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 山崎 潔

TEL 052-521-7111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,991	3.4	128	—	363	39.7	430	28.5
28年3月期第2四半期	9,659	8.2	△48	—	260	—	335	—

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 256百万円 (△12.4%) 28年3月期第2四半期 292百万円 (△81.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	25.51	—
28年3月期第2四半期	19.92	19.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	51,294	38,515	75.1
28年3月期	51,807	38,670	74.4

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 38,515百万円 28年3月期 38,554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	20.00	20.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	2.8	400	△17.1	800	△15.9	800	4.7	47.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	17,265,000 株	28年3月期	21,265,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	367,851 株	28年3月期	4,398,147 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	16,882,119 株	28年3月期2Q	16,815,061 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策や雇用の改善などにより景気の回復が期待されましたが、円高による外部環境の悪化や国内消費の低迷などにより企業業績に減速感が強まり、景気のもたつきが懸念されるようになりました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、家計の低価格指向が強まって消費の盛り上がりが見られななかで、原材料コストや販売促進費が企業収益を圧迫して、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上のため品質管理体制の強化に引き続き注力するとともに、消費者の健康志向などにお応えする高付加価値商品の提供ならびに積極的な営業活動を展開して、売上規模の拡大と収益力の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて3.4%増の9,991百万円となりました。営業利益につきましては、数理計算上の差異に伴う退職給付費用の一時的な増加が利益の圧迫要因となりましたが、売上規模の拡大や売上原価の低減などにより、128百万円となりました。前年同期は48百万円の営業損失でありました。また、経常利益は、営業利益の改善により前年同期と比べて39.7%増の363百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別利益に新株予約権戻入益106百万円を計上しました結果、前年同期と比べて28.5%増の430百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、個人消費の回復に足踏みが見られますが、主力の菓子部門は積極的な販売促進活動を展開し拡売に努めましたところ、売上が好調に推移して増収となりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」のほか、本格的なビターチョコレートの「チョコレート週間」などが売上を伸ばして増収となりました。キャンディ類は小袋商品などの自社商品の売上が伸びて増収となりました。

粉末飲料部門は、販売促進プロモーションを展開したことなどにより「香り高いミルクココア」や「スティックメイトフルーツアソート」などの売上が伸びて増収となりました。

主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、自社商品が売上を伸ばし健闘しましたが、受託商品が苦戦を強いられ減収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、積極的な営業活動を進めた結果、ゼリー類が大きく売上を伸ばして増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ4.2%増の8,774百万円となりました。営業利益につきましては、原材料コストの高止まりや販売促進費の負担などが利益の圧迫要因となりましたが、売上高の増加や売上原価率の改善などにより前年同期に比べ134.0%増の361百万円となりました。

化成品事業

酵素部門につきましては、海外を主な市場とした激しい企業間競争や急激な円高の影響が続くなか、脂肪分解酵素「リパーゼ」は前年同期並みの売上となりましたが、チーズ用凝乳酵素「レンネット」の売上が低下し、減収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」およびその化学的誘導体である「デキストラン硫酸」などの売上が伸びて増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ2.7%減の1,065百万円となりました。営業利益につきましては、円高の影響などにより前年同期に比べ57.6%減の33百万円となりました。

不動産事業

不動産事業につきましては、事務所や駐車場の賃貸契約の増加などにより、売上高は前年同期に比べ6.2%増の152百万円となりましたが、営業利益は設備の改修工事に伴う償却費の増加などにより前年同期に比べ1.2%減の53百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ63百万円減少し、9,975百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が618百万円減少したことや、原材料及び貯蔵品が327百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ449百万円減少し、41,318百万円となりました。これは、保有する株式の株価の下落などにより投資有価証券が426百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ512百万円減少し、51,294百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ156百万円減少し、4,864百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が239百万円増加したことや、その他に含まれる未払費用が238百万円減少したこと、未払法人税等が191百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ201百万円減少し、7,914百万円となりました。これは、繰延税金負債が149百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ357百万円減少し、12,779百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ155百万円減少し、38,515百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が287百万円減少したことなどによります。

また、平成28年5月20日付の4百万株の自己株式の消却を主因として、自己株式（マイナス表示）が7,710百万円、利益剰余金が7,575百万円それぞれ減少しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ99百万円減少し、2,701百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ30百万円増加し、696百万円となりました。資金の主な増加要因は、売上債権の減少額618百万円および減価償却費496百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加額635百万円であります。投資活動の結果使用した資金は、381百万円となりました。資金の主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出390百万円であります。なお、前年同四半期連結累計期間の投資活動の結果は、5百万円の資金の増加でありました。また、財務活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ211百万円減少し、414百万円となりました。資金の主な減少要因は、配当金の支払額335百万円および長期借入金の返済による支出87百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、食品事業の出荷が秋季から冬季に膨らむ傾向が強くと、例年、上半期の業績は下半期に比べ相対的に低い水準となる傾向が強いこともあり、当第2四半期累計期間は、概ね当初の想定した範囲内で推移しております。現時点では通期の連結業績予想につきまして、平成28年5月13日に公表いたしました数値を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

建物附属設備及び構築物の減価償却方法について、定率法を採用しておりましたが、平成28年度税制改正を機に減価償却方法の見直しを行い、平成28年4月1日以後に取得したものについて定額法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,710	2,411
受取手形及び売掛金	4,222	3,604
有価証券	702	900
商品及び製品	943	1,219
仕掛品	446	478
原材料及び貯蔵品	824	1,152
その他	210	227
貸倒引当金	△22	△18
流動資産合計	10,039	9,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,191	4,256
その他(純額)	6,503	6,432
有形固定資産合計	10,695	10,689
無形固定資産		
	68	71
投資その他の資産		
投資有価証券	30,759	30,333
その他	320	296
貸倒引当金	△76	△72
投資その他の資産合計	31,003	30,557
固定資産合計	41,767	41,318
資産合計	51,807	51,294

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,261	2,500
1年内返済予定の長期借入金	174	174
未払法人税等	242	50
返品調整引当金	8	4
その他	2,333	2,133
流動負債合計	5,021	4,864
固定負債		
長期借入金	462	375
繰延税金負債	4,571	4,421
役員退職慰労引当金	19	4
退職給付に係る負債	2,838	2,871
その他	223	241
固定負債合計	8,115	7,914
負債合計	13,136	12,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	33,149	25,574
自己株式	△8,414	△703
株主資本合計	26,124	26,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,656	12,368
退職給付に係る調整累計額	△226	△113
その他の包括利益累計額合計	12,429	12,255
新株予約権	116	-
純資産合計	38,670	38,515
負債純資産合計	51,807	51,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,659	9,991
売上原価	6,738	6,675
売上総利益	2,920	3,316
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,066	1,191
給料手当及び賞与	724	710
退職給付費用	82	130
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
貸倒引当金繰入額	2	-
減価償却費	30	31
その他	1,062	1,122
販売費及び一般管理費合計	2,969	3,188
営業利益又は営業損失(△)	△48	128
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	294	309
持分法による投資利益	17	-
その他	10	15
営業外収益合計	328	331
営業外費用		
支払利息	7	6
固定資産除売却損	11	37
持分法による投資損失	-	1
為替差損	-	47
その他	0	3
営業外費用合計	19	96
経常利益	260	363
特別利益		
新株予約権戻入益	-	106
投資有価証券売却益	122	-
特別利益合計	122	106
税金等調整前四半期純利益	383	469
法人税、住民税及び事業税	62	44
法人税等調整額	△14	△5
法人税等合計	48	39
四半期純利益	335	430
親会社株主に帰属する四半期純利益	335	430

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	335	430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85	△287
退職給付に係る調整額	43	113
その他の包括利益合計	△42	△174
四半期包括利益	292	256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	292	256

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	383	469
減価償却費	558	496
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	87	195
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	△14
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△8
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△122	0
有形固定資産除売却損益(△は益)	11	35
受取利息及び受取配当金	△300	△315
支払利息	7	6
持分法による投資損益(△は益)	△17	1
売上債権の増減額(△は増加)	226	618
たな卸資産の増減額(△は増加)	△572	△635
仕入債務の増減額(△は減少)	377	239
その他	△210	△477
小計	429	611
利息及び配当金の受取額	304	317
利息の支払額	△7	△6
法人税等の支払額	△60	△227
営業活動によるキャッシュ・フロー	665	696
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△200	△13
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	596	6
有形固定資産の取得による支出	△247	△390
その他	△143	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	5	△381
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20	-
長期借入金の返済による支出	△277	△87
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	34	42
配当金の支払額	△367	△335
その他	△35	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△626	△414
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	45	△99
現金及び現金同等物の期首残高	1,805	2,800
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,851	2,701

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成28年5月13日開催の取締役会決議に基づき、会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が7,652百万円、自己株式が7,652百万円減少しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,420	1,094	143	9,659	—	9,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,420	1,094	143	9,659	—	9,659
セグメント利益	154	79	53	287	△336	△48

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,774	1,065	152	9,991	—	9,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,774	1,065	152	9,991	—	9,991
セグメント利益	361	33	53	448	△319	128

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(別紙)

名糖産業株式会社

平成29年3月期第2四半期決算参考資料

(金額単位：百万円、百万円未満切捨)

1. 第2四半期連結累計期間(中間期)の実績推移
(連結)

	24/9月	25/9月	26/9月	27/9月	28/9月
売上高	8,524	8,366	8,929	9,659	9,991
営業利益	△422	△464	△557	△48	128
経常利益	△166	17	△272	260	363
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△348	5	△97	335	430

2. 通期の実績推移と業績予想
(連結)

	25/3期	26/3期	27/3期	28/3期	29/3期予想
売上高	19,216	19,302	20,080	21,390	22,000
営業利益	△192	△545	△292	482	400
経常利益	31	129	224	951	800
親会社株主に帰属する 当期純利益	47	△261	64	763	800

3. 事業別売上高予想
(連結)

	29/3期予想	増減率	28/3期
食品	19,400	2.9%	18,859
化成品	2,300	2.5%	2,243
不動産	300	4.4%	287
合計	22,000	2.8%	21,390

4. 営業外損益の内訳(実績)
(連結)

	第2四半期連結累計期間		通期
	28/9月	27/9月	28/3期
営業外収益	331	328	543
受取利息及び配当金	315	300	502
持分法による投資利益	-	17	24
その他の営業外収益	15	10	16
営業外費用	96	19	74
支払利息	6	7	14
持分法による投資損失	1	-	-
その他の営業外費用	88	11	60